

ブロック会の復活で、 支部活動の活性化が 期待されています！

(株)ガクヨー 代表取締役 小林剛太郎

支

部会員にとって、月一回の支部例会は経営に役立つ勉強の場であり、会員相互の交流の場でもあります。会員諸元の様々なニーズを取り上げ、例会担当幹事は、何カ月も前から準備しています。例会への参加は、同友会を知りえる最も重要な場と位置付けられています。例会がどうしても数居の高い向きには、気軽に下駄履きで知り合える場として「ブロック会」の存在意義が見直されて参りました。このような観点から20年程前にブロック会が誕生しています。

ブロック会の名称と地域割は、会員企業の所在地と会員数のバランスを元に、1・大森 2・池上 3・蒲田 4・リバーサイド 5・アイランド 6・エアポートの六ブロックからスタートしました。その後、池上がリバーサイドに、蒲田がエアポートに合併され4ブロック体制がかくりつされました。今年度の支部活動方針でブロック会の復活とアイランドとエアポートの合併によるベイエリアの発足となり、大森、リバーサイド、ベイエリアの3ブロックで新たに歩みだします。

ところで、皆さんはご自分の所属ブロック、お判りですか？ 近々、事務局から所属ブロックと各ブロック役員のご案内があります。ブロック会でご近所の企業家と知り合い、支部例会で多くの仲間造りをして参りましょう。

リバーサイドブロック

ブロック会は 同友会の 登竜門!!

●ブロック長
(有)ルミナス
代表取締役
島村亮



毎月第4木曜日はリバーサイドブロック会です。会の内容は主に飲み会です。集まった方々の近況報告を聞きながら、時事の話をしながら、また日々の経営の中で生まれた困りごとや自慢話を聞きながら楽しく交流する会です。

私が入会当時はこのリバーサイドブロック会が初めての同友会で当時のブロック長、副ブロック長に大変お世話になりました。そのころはブロック会が盛り上がりつつあって常に20人くらいは会員さんたちが集まっていた大変賑やかな会でした。私はそこで良き友人を作り、良き

先輩にも恵まれ同友会の楽しさを教わりました。何とかあの頃のようないや、それ以上の価値ある会にしたいと思っておりますので皆様のご協力をよろしく願います。

ベイエリアブロック

元気な ブロック会に しよう!!

●ブロック長
高輪チーゼル(株)
代表取締役
杉崎武春



今回ブロック会復活後、エアポートとアイランドが一緒になってベイエリアとしてスタートしました。会う人会う人、皆、ブロック会が同友会の原点だと言います。

私もアイランドの例会には数回程しか出ていませんでした。それというのも私は港支部出身で、会社が芝浦から城南島へ移ってから大田支部へ移って来たため、新入会員ではなかったため少し寂しい思いをいたしましたし、ブロック会があることも知りませんでした。当時21研の委員長が今井さんだったので、同じ城南島仲間として親しくさせて頂きました。40歳までの青葱時代は例会委員長もやり頑張っていたのですが、卒業してしまおうと何が終わった様な気がして、心はうわの空だった気がします。ブロック長として何が出来るか分かりませんが、大田同友会が元気になるためにまずブロック会を元気

にします。また参加される一人一人が達成感が持てる様な同友会を目指します。以前、エアポートやアイランドの会員は是非ベイエリアブロック会に参加してください。ご協力宜しくお願いします。

大森ブロック

ブロック会へ 来て ください!!

●ブロック長
丸良興業(有)
専務
虻川良太郎



皆さんこんにちは、大森ブロック長の虻川良太郎です。大森ブロックは宴会幹事が毎月違う人が行います。これにより参加意識を強くし、より仲間意識を高めることを狙っています。仲間意識が高まることによりお互いの話も相互に行いやすくなり、各業界の現在や今後の未来の情報交換の場として大いに盛り上がることを期待しています。

次回の大森ブロックは仕切り直しとして、自分が幹事を引き受け、9月例会で講師としてお話し頂く石井誠二社長のお店、ひもの屋大森店でやりたいと思っています。もちろん、各ブロックの参加もおまちしております。

みなさまのためになる有意義な時間を提供できればと考えております。ぜひ、多くのおみなさまのご参加をお待ちしております。

7 月 例 会 報 告

新市場開拓・創造こそが生きる道

勝ち残る経営

地域NO.1戦略の実践

講演者 ● (株)シティ・ハウジング

代表取締役 佐藤仁氏

7月22日、PIOにて、大田区が誇る不動産屋さん

「シティ・ハウジング(株)」の佐藤仁さんの例会が開催されました。

独立して順調に経営を伸ばすも、多店舗化していく上で失敗も経験。

潰れない会社づくりをめざす中で、「経営指針・経営計画」に出会いました。

「企業は人」やる気づくりこそ大切と実感。

以来、経営指針をベースにしながらか、変化に対応した新規開拓を旨として、

地域密着のNO.1企業へと成長してきました。

その過程と今後の展望、さらに、地域開発のプロとして、

大田のポテンシャルについて、熱く語っていただきました。

経営指針の重要性を
考えさせられました

報告者 ● (株)エールデザイン

代表取締役 鈴木弘伸

大田区・品川区に住ん

でいる、またはお勤めの

方なら一度は目にしたこ

とがあるう、青の文字で

大きく「ch」と書かれ

た看板。(株)シティ・ハウジング。地域に特

化した戦略で地域ナンバーワンを目指し実

現するとう成功事例が伺えると聞き、当

日を楽しみにしておりました。まずは集ま



大田区・品川区に住ん

でいる、またはお勤めの

方なら一度は目にしたこ

とがあるう、青の文字で

大きく「ch」と書かれ

た看板。(株)シティ・ハウジング。地域に特

化した戦略で地域ナンバーワンを目指し実

現するとう成功事例が伺えると聞き、当

日を楽しみにしておりました。まずは集ま

いた猿渡社長が会社の倒産を機に「会社を倒産させない」方法を考え抜き、「経営指針」の策定に取り組んでいったという話を伺ったのとダブリ、ここでもまた経営指針の重要性を考えさせられました。

末筆ではございますが、不動産賃貸だけではなくコインパーキングからトラックルーム、コインランドリーまで運営されていたことを今回初めて知り、「新市場開拓」を常に押し進めていく佐藤社長の姿に、勇気とパワーといただいた事には大変感謝いたします。ご講演いただき本当にありがとうございます。

企業は変化対応業であると
感じさせられました

報告者 ● (株)つやげん

代表取締役 楠薫



多店舗化失敗というピンチを、逆に潰れない会社作りをするバネにしている。企業は人なり」という言葉にあるよう社員

と大切にして経営指針、経営計画書にある

よう則った経営をされている。地域NO.1

戦略、新市場開拓・創造に関しては、全国

でやっても城南地域でやっていない事

業であればうまみがあるわけで、まさに、

企業が変化対応業であるということですね。

毎週日曜日の午前中新規開拓会議をされ

ていたり、毎月店長に手紙を書く、月ごと

3か月ごとに表彰制度、月曜と土曜日は経

営計画書を朝礼で読む、社員の総評をポイ

ント制にするなど、自社でも実践したいと

思います。

新規事業は社長のトップダウンであること、いいことは続けることということをお教

えられました。



(株)シティ・ハウジングの概要

【資本金】1,000万円

【社員数】62名

【事業内容】不動産の賃貸、管理、
売買、仲介、マンション・
トランクルーム・コインパーキングの運営

6月例会報告

全社員参加型経営を

語る
講演者 ● (株)サヤカ
代表取締役 猿渡盛之氏

6月17日、大田支部6月例会がP・Oにて開催されました。まさに社員参加型の代表格！大田支部の重鎮、猿渡さんが代表を務める(株)サヤカさんでは、社員が「こうしたいーこうやりたい！」と、自発的に意見が言え、行動に移せる経営環境を作り上げています。「結果が出たら報われる」といった人事考課も含めた理想的な環境が整備されています。しかし、ここまでくるまでには様々な苦労もあつたようです。6月例会では、その苦労話もたっぷり語っていただきました。

大田支部例会に
はじめての参加！

報告者 ● リス(株) 広瀬五十恵



昨年、平成十九年十一月に、(株)ベースシステムの平間社長のお誘いを受け、同友会大田支部に入会させていただきました。会社の所在地は新宿区ですが、なぜ大田支部へ入会・・・それは大田支部の皆様の情熱と熱意に共鳴したからなのです。弊社は新宿を本社所在地とし、総合人サービス業を営んでおります。「雇用の創出」を経営理念とし、全国に十ヶ所の支社と営業所を展開して、企業様と求職者の皆様の橋渡し役をし、今年で二十九年目に入りました。

入会以来、経営指針の会で交流をさせていただき、そこで猿渡社長にお目にかかりました。このたび(株)サヤカ代表取締役猿渡盛之様の講演があることを知り、早速申し

(株)サヤカの概要

【資本金】4,800万円
【社員数】37名
【事業内容】自動組立システム、自動検査システム、プリント基板分割装置、各種治具、開発、製造、販売

込みをし、六月十七日に参加させていただきました。総勢七十名の皆様の熱気の中で、猿渡社長の講演が始まり、講演中は出席者全員微動足りともせず、猿渡社長の一言一句も聞き漏らさないよう皆様は耳を傾けておられました。猿渡社長の穏やかな語りで、創業から現在に至るまでの「いいときの話」と「悪いときの話」を織り交ぜながらの講演でした。私が一番感動したのは、気がつけば自己資本比率五十五パーセントという驚異的な数字でした。経営計画書もテーブルごとに配布されており拝見しましたが、見事な数値管理が成されており、この情報を全社員に開示し、情報の共有化をされていることです。それと猿渡社長のお人柄と、奥様である専務とのゆるぎない夫唱婦隨の会社経営スタイルにも感心いたしました。これからも(株)サヤカ様の益々のご発展をお祈りし、例会初デビューのお礼の言葉とさせていただきます。

最高の

「経営のための処方箋」を

ありがとうございます

報告者 ● 広沢電機工業(株) 天野隆



まずは参加者の多さの圧倒されました。これはひとえに猿渡様の素晴らしい人柄と過去、支部長としての堅実な実績を残されたことに因るものと推測しております。就職、転身、倒産、そして債権者からの社長指名においてはかなり悩まれた結果として社長を引き受けるが、倒産の分析をして二度と轍を踏まない方針決定と「人に出来ることは自分にも出来るだろう」との事業意欲の表れと理解しました。「現金決済」「一部上場企業との取引」「新製品の開発(商社からメーカーへ)」「経営者と社員の明確化」「経営理



念・経営計画の作成」と矢継ぎ早に対策を打たれたことは大変だったと思うと共に、良く社員の皆様が付いてこられた感心します。ここにも人柄が表れていますね。金融対策は金言を戴きました。「遠くの親戚よりも近くの他人」実際のことなので、なるほど。順調な会社運営の中で社員の不満はいつの世でもあり得ること。安心して働けない会社、そして「コミュニケーションの良くない会社」、このような不満を解消するのに一泊研修を行い、「同じ釜の飯を食う」「みんなで就業規則を作る」、そして社員の発言が「経営計画」となり、自分たちで決めたことは納得できるし、行動に移せる。従って良い結果が出てくる最良の循環が生まれた(PDCA)。四半期毎の一泊研修を続ける中でテーマを作り議事録の作成をして徐々に経営の基本的な方針や重要テーマを作り込んだ。全社員を巻き込んだ経営は揺るぎないものに進展してしていることが話の中から詳細に読み取れました。やはり猿渡様の《人間力》なのかと感心しきりです。商社からメーカーへとという悲願達成にもベンチマーキングや均等バランス経営と自社ブランドに拘る強い「想い」が込められた結果だと想います。円高不況時の売上半減に因るリストラは経営者にも痛手。特に精神的なところは癒えないことでしょう。このようなときの会社の危機感がかえって強い組織を作ることが出来る『ピンチはチャンス』でもある『全員参加の経営』『ニッチトップ』『スモールマーケットのオンリーワン』『健全な財務体質』『明るく元気な社員』。この珠玉の金言集は、猿渡様の数々の苦境や失敗から学ばれた心の奥底から生まれた最高！の経営のための処方箋と位置付け、今後の自社の経営に生かして参りたいと思います。猿渡様には素晴らしい講演をしていただき有り難う御座いました。

5月例会報告

電動バイクが世界を変える

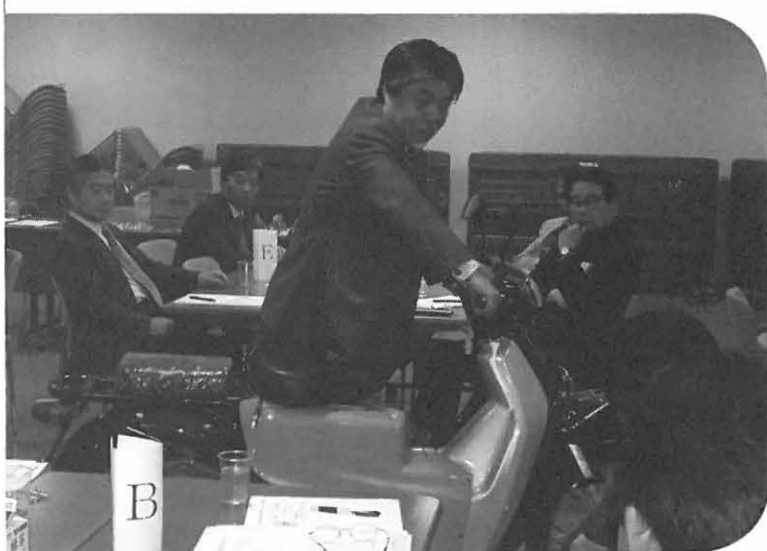
「今、時代は電動へ！」

電動バイクプロジェクトに向けた

熱き男のドキュメント

講演者 ● 東エーMC株 代表取締役 河原久隆氏

5月12日、P・I・Oにて21研担当の5月例会が開催されました。省エネ・環境・騒音・省資源・低コスト・排ガス・リサイクル・地球温暖化、急激な勢いで時代の要請が叫ばれる中、『静・省・潔』新時代のトランスポーターとして本流は、電動へ。バッテリーだけでもって十分な機能を発揮するバイク開発の可能性が見えてきたことで、電動バイクの開発に乗り出した東エーMC株の代表の河原さん。新聞記者からの転身した異色のキャリアの持ち主は、素晴らしい油絵風景画家であり、熱き男でもある。電気自動車は拓くEco電機産業の背景と共に、しっかりと勉強させてもらいました。



成長産業に乗り遅れるな!!
という熱い
メッセージを感じました

報告者 ● ジャストエイド株
荒井守



今年度初めの例会は支部会員の中から異色の経歴を持つ東エーMC株の河原社長にお願いした。

河原氏は元読売新聞の新聞記者であり、画家でもあるがなぜかエンジニアでもないのに東工大の講師を務め、今は都立産業技術専門学校(旧都立高専)と電動バイクの開発と販売に取り組んでいるのである。時代はまさに追い風で、地球温暖化によるCO₂の削減と原油の卸売価格の高騰に



よって内燃機から電気への関心が高まっている。電動バイクについては自動車メーカー・バイクメーカーも以前より取り組んでおり、技術的には出来ているが、内燃機産業のしがらみや諸問題があるためメーカー各社はまだ本格的には販売に至っていない。また、東南アジアでは既に電動バイクは実用化されていて、日本がいろいろな規制によって遅れている状態であるようだ。

河原氏は、電動バイクの試作車を作るにあたり、台湾の町工場で図面もなく、口頭とボディアクションで製作を支持し、わずか1ヶ月で作りを上げたという。また、量産についても生産体制とコストも目途がついている状況だ。

しかし、河原氏が当面目指しているものは大規模な販売ではなく、大手が参入しづらいニッチなところを狙っている。電動バイクにはまだまだ課題が残っており、長距離での走行の場合バッテリー切れや故障などの時の対応が困難なため、まず世の中にデビューさせるためには管理しやすい環境が必要であるという。そのために河原氏はマーケティングとして古巣の読売新聞の販売店に絞った。静まり返った早朝に新聞配達バイクの音で目を覚ましたことは無いだろうか? 電動バイクならばエンジン音を轟かせる事も無く配達できる。新聞配達ならば移動範囲が限定されており、バッテリー切れ等のトラブルにも対応しやすいなどの条件が整っている。

ここで河原氏の人的ネットワークが強みを発揮した。読売新聞社に持ち込みプレゼンし早速採用の内定を獲得した。各企業もCO₂削減目標があり、カーボントレードなどというビジネスが成り立つ昨今、新聞

社にとってもメリットがあり、イメージアップにもつながる。今は読売向けの量産に備え河原氏が車体デザインをして高専のCADで図面化しているとのこと。電動バイクが新聞を配る姿を見る日も遠くはなさそうだ。

同友会に入会してわずか半年の河原氏の例会デビューは、運営を担当した21研としては準備が不十分で、河原氏のおさを充分引き出すことができなかったことは反省点であるが、「成長産業に乗り遅れるな!!」という河原氏の熱いメッセージは伝わったのではないかと河原氏のハチャメチャなキャラクターと熱さが印象に残る。また、高専の井上先生が技術面について解説してくれたため理解が深めることができた。会場に電動バイクの試作車を持ち込みモーター音を確認し、よりリアルティのある例会となった。

2次会も近くの居酒屋で深夜まで盛り上がり、無事? 5月例会を終えることができました。講師の河原さん、運営を担当していただいた21研の皆さん、お疲れ様でした。

日本の技術発展のために
期待しています

報告者 ● 株式会社板垣塗装
板垣竜介



久々に例会に出ましたが、メンバーの様変わりにびっくりしました。ほとんどが知らない顔でした。会の開催時間が少し遅れたり、相変わらずのところもありましたが、久々にみなさんと楽しい話ができて、いい時間が過ごせました。

講演はとっても興味深く聞きました。今後の電気バイクの発展性をしては、地球環境上、さらには、日本の技術発展のために期待できるのでは!と感じました。普及すれば、自社でも社員に薦めたいと思います。

同友会目黒支部 7月例会報告

製造工場失くし、 メインクライアント失くし、 でも業界ベスト3！

洋服屋から

環境にやさしい

LEDサインメーカーに

講演者●(株)レガーロ 代表取締役 高倉博氏(大田支部副支部長)



(株)レガーロの概要

【設立】平成10年3月23日
【事業内容】LEDサイン(レコライト)、
衣料品の副資材、
Tシャツなどのプリントの企画加工

7月16日目黒区中小企業センターにて、東京中小企業家同友会目黒支部7月例会が開催され、われらが目黒支部会員、株式会社レガーロの高倉博氏が講演いたしました。

28歳で現在の会社レガーロを立ち上げ夢の経営者となったものの、これと言った目標も同友会に出会った高倉さん。「若手経営者の仲間ができて、『居場所』もでき、その仲間から『お前は何か挑戦してない』と批判されたことがきっかけでLED業界に参入。そこから挑戦が始まりました。ターゲットを大手小売業A社に絞り営業、苦勞のかいあって受注するも、施工業者と製造工場の間に入り苦闘が続きました。そして、みごとやりあげLEDの看板業界で中小メーカーとして高い地位を占めるのですが、そこからも波乱万丈。子会社の担当者の裏切り、最大のクライアントとの決別。しかし、その苦難を糧に前進し続けています。その支えは「経営理念を掲げ、常に立ち戻ったこと」と「信頼できる社員たち」でした。

今後益々の 発展ぶりが楽しみです

報告者●高室自動車興業(株)
代表取締役 高室純一(目黒支部)



環境という現在の時代にマッチした業種に参入し、目標がぶれずに社員と一体となって突き進んでおられ、また、社長自らが営業をして想いを相手にぶつけているところなど、素晴らしいと思いました。業界を知らなかったということが、良い方向に影響したのかもしれませんが、それまでの業界の常識にとらわれずに、挑戦しているところも、また素晴らしい。依頼仕事もかなりあるようなので、エンドユーザーのニーズをつかむなど、今後の進展も楽しみです。直接、お客様の声を聞き、即対応し、周りの風(情報)を読みながら、前進されており、現在発展

大変刺激になりました！

報告者●SKSコンサルティング
代表取締役 砂川光一郎(目黒支部)



食事でグループ討論、発表と、かなりタイトな時間割でしたが、皆様のご配慮で無事終了しました。会全体を通して、もう少しグループ討論の時間がほしい、もう少し少しいました。なぜ業界3位にとどまることができているのかを考えると、要素は3つあると思います。①経営環境、世の中の流れをよく見ていること、②分かり易いビジョンを持っていること、③強い営業力！だと思います。話の中には、自社にも応用できそうなことや経営のヒントがあり、大変刺激になりました。

途上ということなので、数年後の姿をぜひ見てみたいですね。

第6回HP部会だより

自社で作れば全部タダ！ ホームページは動画の時代！ 制作ノウハウすべて 教えます！

報告者●(有)板金塗装鈴木
代表取締役
鈴木裕二郎



6月19日、P.Oにて(株)オーブラス・メディアの馬場社長を講師に、HP制作のノウハウなどをお聞きしました。(有)板金塗装鈴木鈴木裕二郎は、「すぐに実行したい！と思える内容でした。自分がやりたかった動画をホームページに掲載する方法を実践的に教えて頂けて大変満足しています。動画コンテンツの作る為の考えからテクニクまでを短時間に簡潔にレクチャーして頂きました。以前にテレビに出演したことがあるのですが、その時の動画をホームページに掲載したいと考えていたので、帰ったら直ぐに取り掛かりたいと思います。最近の若い人は、家に帰ってまずパソコンをつけるという人が多いと聞きました。すでに、この年で若い人の動向が良く分からなくなってきたなあと、しみじみ感じたりしました。HP部会は、先輩から若い人まで活気のある良い部会だと思えます。」と感想を話してくれました。

「編集君が行く」

作・井上製作所 井上健太郎

3



目次

- 1 面 ● 3ブロック紹介
 2 面 ● 7月例会報告
 3 面 ● 6月例会報告
 4 面 ● 5月例会報告
 5 面 ● 目黒例会報告&HP部会報告
 6 面 ● 4コマ漫画「編集君が行く」
 大事なお知らせ

今号の担当編集委員

蛇川良太郎@クレーン作業なら丸良興業
 河津文三@イエ〜!! ホワイトホームズ
 柳沢明子@企業広報サポートのバース
 安藤俊也@地域密着まどり君の賃貸情報
 馬場雅敬@動画配信のオーブラスメディア
 井上健太郎@アルミのことなら井上製作所
 皆川祐一@油圧機械部品ならミナガワ

東京中小企業家同友会大田支部
 Vol.6 ● No.78 ● 平成20年8月25日

大事なお知らせ

移植を待つ 恵介くんを助けよう!!

C型肝炎による肝硬変で余命1年と宣告された恵介くんのために、一刻も早く移植費を集め元気な姿で戻ってくることを願い、若いサラリーマンの人々と一緒に力を合わせてそれを実現するために頑張っています。

恵介くんを助ける会 代表 網嶋信一

28歳の誕生日を迎えてひと月あまり経った昨年9月、体の不調を訴え、病院で診察を受けたところ、C型肝炎が悪化し、肝硬変に至っている事実を知らされ、余命が僅かしか残されていないとの宣告を受けました。感染経路は母子感染の可能性が高いとのこと。生まれながらに病に侵されていた事すら知らず、もはや治す手段もなくただ死を待ち、何の為に生きているのかさえ分からない毎日を送っていました。しかし、治療する方法が一つだけ残されていました。移植という方法です。国内での移植を希望しましたが、生体

肝移植では親族に適正がなく、国内の脳死ドナーからの提供は5年待ちとされており、自身の余命からまず不可能でしょうと告げられました。唯一残された道は海外移植しかありません。ですが、海外移植は莫大な費用がかかり、私個人ではとても負担出来る額ではありません。

父亡き今、同じくC型肝炎を患っている母を支えていく為、どうか、もう一度私に生きる機会をいただけないでしょうか。皆様の暖かいご支援、ご協力を宜しくお願い致します!

細谷恵介

ダイヤルQ2

「恵介くんのいのちのダイヤル」

0990-51-8000

恵介くんのメッセージを聞くことで、315円(税込み)が恵介くんを助ける会に自動振込されます。

NTTの固定電話に限りです。

(携帯・PHS・IP電話・公衆電話からはかけられません)

口座名義:

恵介くんを助ける会(ケイスケケンヨタスケルカイ)

- ▶三菱東京UFJ銀行 五反田支店 普通 2664700
- ▶みずほ銀行 五反田支店 普通 2755425
- ▶三井住友銀行 五反田支店 普通 8211630
- ▶郵便局 記号10010 番号42978741

8月30日(土)、南部協 バーベキュー&手作りミニ運動会

大田支部例会・
南部協交流会

運動会でいい汗かいて、冷たいビールとバーベキューで、支部の垣根を越えて一緒に盛り上がりましょう!
 南部協とは、目黒支部・世田谷支部・大田支部・品川支部の協議会のことです。
 この4つの支部で、お互いに交流ができるような手作り運動会とバーベキューを企画しました。
 真夏の一日、楽しみませんか?
 ぜひ、ご家族・社員でご参加ください。

●用意していただくもの

- ・座るためのシートや椅子など
- ・ミニ運動会をしますので、動きやすい服装でお越しください!

●そのほか

- ・食べ物や飲み物の差し入れ大歓迎!
- ・ビールと焼酎、ソフトドリンクは用意します。
- ・雨天中止の場合、前日29日に連絡を差し上げます。
- ・飲酒をされる方は、運転をされないようにお願いします。
- ・会員さん本人はもちろん、どなたでもご参加できます。

日 時●8月30日(土) 集合16:00 解散20:00頃

場 所●平和島キャンプ場 C区域(プール裏) 平和島大田区平和島4-2-2

京急線平和島駅下車徒歩約10分/レジャーランド平和島バス停下車徒歩約3分

予定金額●会員4,000円/家族・社員・会外(中学生以上)3,000円/小学生以下無料 ※いずれも保険料込み

締め切り●8月25日

お問い合わせ●☎5953-5671(事務局・高橋)